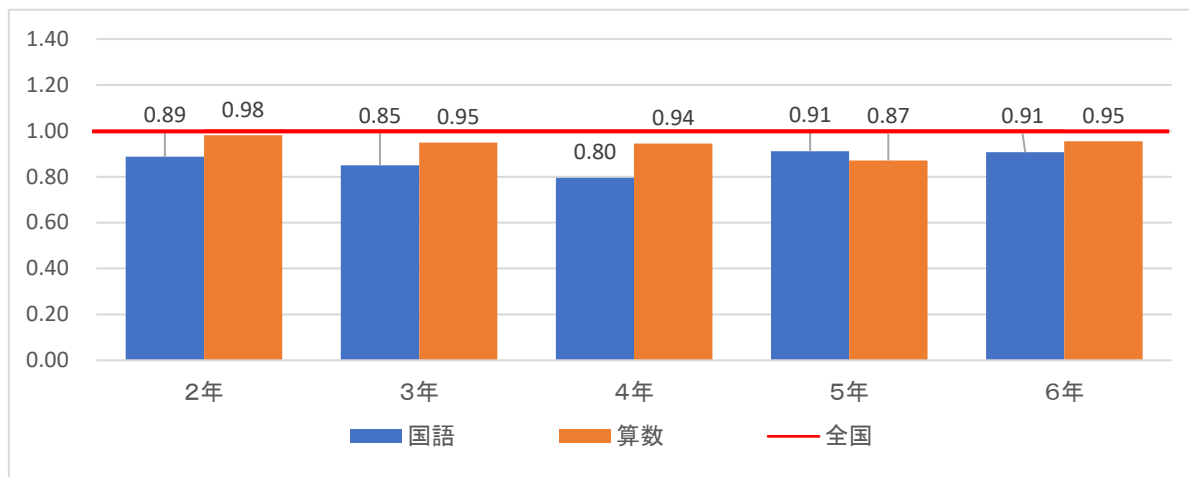


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第八中学校区 西小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「物語や説明文を読み取る」「調べたことをもとに文章を書く」問題に課題が見られた。児童が長文に関わる場面を増やし、内容を整理して書く学習活動の更なる充実を図っていく。
	算数	「数と計算」領域は比較的良好であるが、「図形」領域や活用問題に関しては課題が見られたので、「図形」領域は授業内でいねいな指導を繰り返し行っていく。また、活用問題は授業内での取り扱いを増やしていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」設問に課題があった。話し合いの内容や自分の意見をわかりやすく文章にまとめる学習活動を大切にしていく。
	算数	日常の事象を数理的に捉え、数学的に問題発見・解決する学習活動を大切にしていく。また、問いの答えに対して、理由を言葉や数を用いて記述する学習場面を数多く取り入れていく。
	質問紙	「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に、「2時間以上」と回答した児童の割合は、全国平均より大きく下回った。今後も、自ら主体的に学ぶ力をつけるためのサポートを充実させていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

家庭学習の定着化を図るため、自主学習ノートおよび宿題プリントの共有を行う。「個別最適な学び」を推進するために、個々の習熟度に合わせた教材の提供を行い、自らの課題に応じて主体的に学ぶ力の育成を図る。

【 学 校 】

国語・算数ともに中間到達度を把握し、今年度に学習した内容について、時間が経って忘れてしまわないように、繰り返し問題に向かう学習場面を設定している。また、子どもたちが「わかるから楽しい」と感じるように、「わかる」授業をめざし、授業改善を進めている。